

江別市・北海道旅客鉄道株式会社・生活協同組合コープさっぽろ 三者の連携による“魅力あるマチ”の姿が明らかに！

江別市、北海道旅客鉄道株式会社及び生活協同組合コープさっぽろの三者は、2024年2月5日に締結した「魅力あるまちづくりに関する連携協定」に基づき、野幌若葉町市有地及び野幌松並町の鉄道林跡地（合計 約8ha）における土地利用について、このエリアが“魅力あるマチ”となるよう連携・協力しながら、検討を進めてきました。

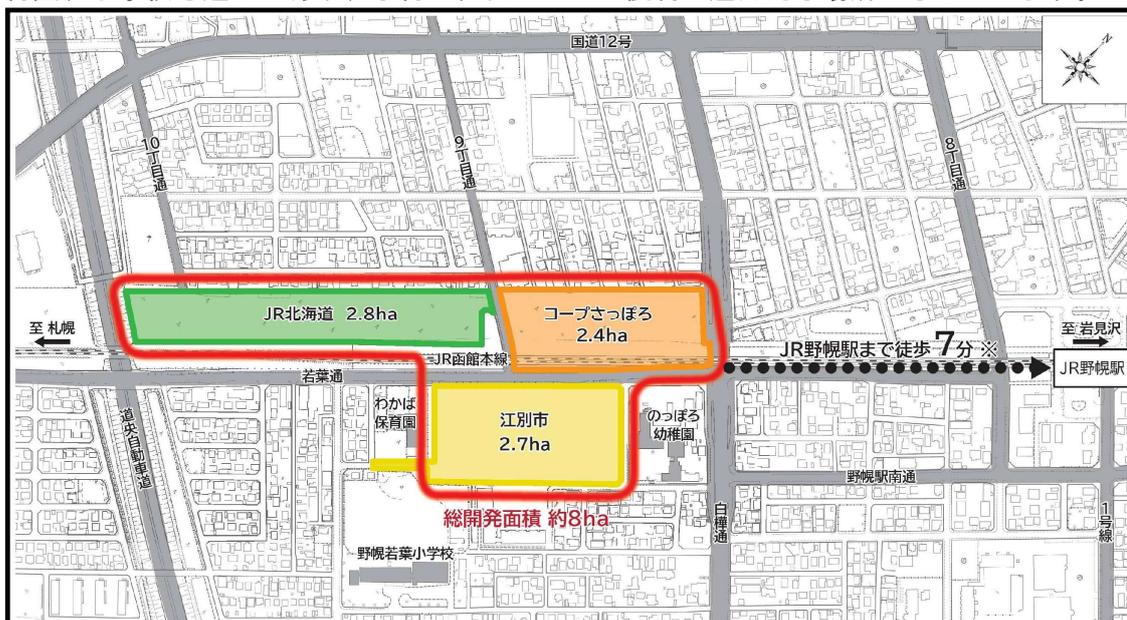
この度、三者の開発計画が具体化してきたことから、今後、このエリアがどのような“マチ”になるのか、開発計画の概要をお知らせします。

1. “魅力あるマチ”の概要

(1) 立地

近年、再開発事業により利便性が向上したJR野幌駅周辺に位置する好立地のエリアです。

JR野幌駅の徒歩圏内で、国道12号にも近いことから、アクセス性が高く、幼稚園や保育園、小学校も近くにあり、子育て世代にとって便利で魅力的な場所となっています。



※野幌駅に最も近い距離で算出

(2) 目指すのは“行きたくなる、住みたくなるマチ”

このような好立地のエリアに、スーパーマーケットやドラッグストア、物販店、飲食店などの「サービス施設」をはじめ、ゆとりある公園、子ども連れや地域の方々などが交流できる「交流スペース」、「子育て施設」などを配置するとともに、ゆとりある広さの戸建用宅地など「約180戸の住まい」を提供することで、“行ってみたい”“住んでみたい”、そして“行って良かった”“住んで良かった”と感じられるような“魅力あるマチ”を目指します。

2. 三者の開発概要

(1) 江別市

- ・ドラッグストア、コンビニエンスストア、クラブハウス（自治会館）、戸建用宅地（69区画）、賃貸住宅（20戸）を計画
- ・IoT技術を活用したタウンマネジメントにより、サステナブルなまちの運営・管理を実施
- ・公募型プロポーザルにより、上記事業提案※を行った積水化学工業(株)を契約候補者として決定しました。（本契約は本年11月下旬を予定）※本年9月末時点の提案内容です
- ・詳細については、江別市ホームページを参照ください。

<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/tosikei/125058.html>



(2) JR北海道

- ・戸建用宅地（93区画）を計画
 - ・子育て世代等に配慮した約1,000㎡のゆとりある公園を整備
 - ・ミサワホーム北海道(株)ほか複数ハウスメーカーとの連携による分譲宅地販売
 - ・宅地購入者には、Kitaca定期券のチャージ還元サービスを提供
 - ・2024年10月より造成工事着手
 - ・I期販売（37区画）を2024年10月より開始（2025年10月に造成完了予定）
- <II期販売については、決まり次第あらためてお知らせいたします>
- ・詳細については、JR北海道ホームページを参照ください。

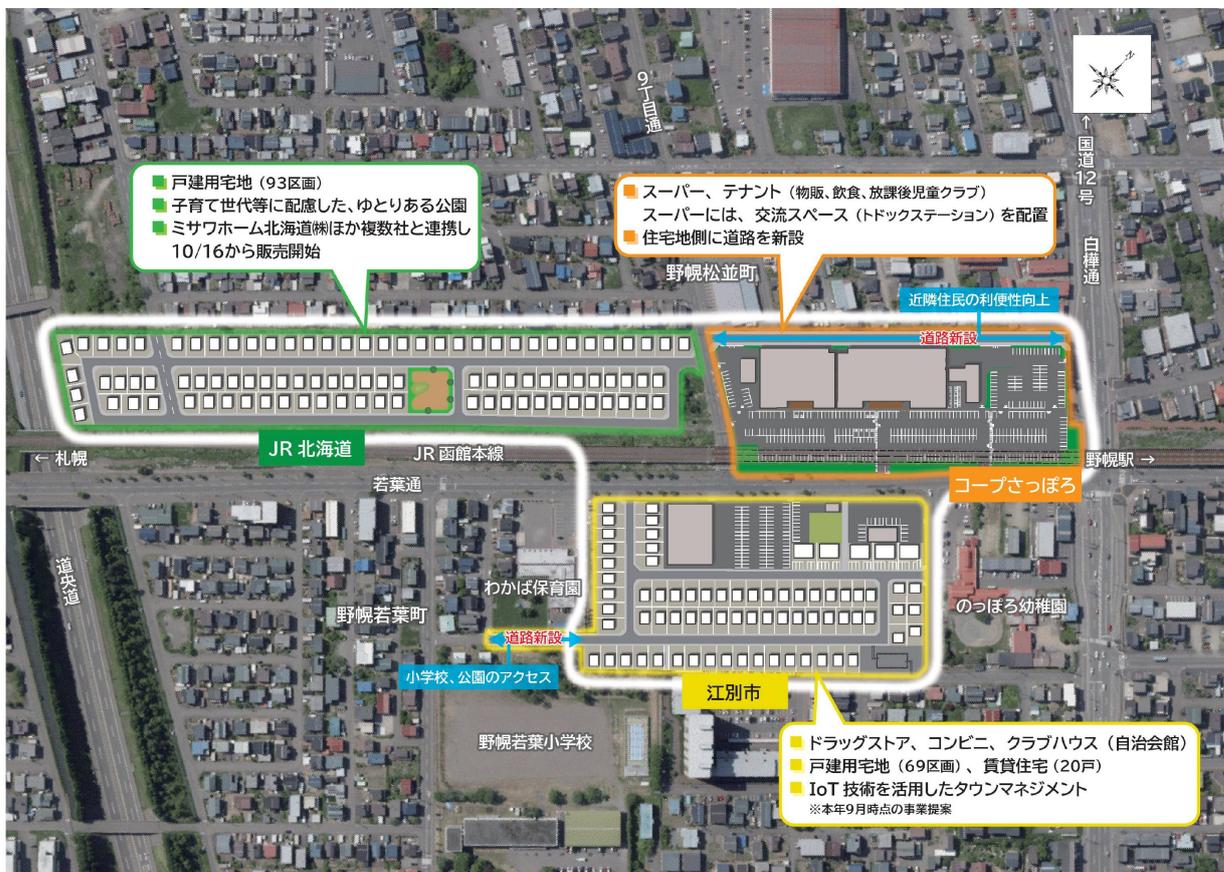
https://www.jrhokkaido.co.jp/CM/Info/press/pdf/20241016_miryokuarumachi.pdf



(3) コープさっぽろ

- ・スーパーマーケット（コープさっぽろ）、テナント3棟（物販、飲食、放課後児童クラブ）を計画
- ・スーパーには、子ども連れなどが無料で気軽に利用できるコミュニティスペース（トックステーション）を配置
- ・近隣住民の利便性などを考慮し、開発地と住宅地との間に道路を新設
- ・2025年6月の完成を目指し、2024年8月に造成工事着工

● 開発概要図



3. 今後期待される効果

このエリアが子育て世代などに選ばれる“魅力あるマチ”となることで、その効果が広く波及し江別の魅力向上や三者の持続的な発展につながることを期待されます。

